

令和元年度補助系統別事業評価票(星ヶ丘・豊田線)

1. 補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
星ヶ丘・豊田	名鉄バス	名鉄バス	赤池駅～御岳～イオン三好店アイモール前	10.0 km	6.5 回	東郷町、みよし市、日進市
細系統				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

接続の状況(△□)	模式図(△□)
<p><接続する系統></p> <p>名鉄豊田線、市営地下鉄 名鉄バス 日進中央線</p> <p><接続される系統></p> <p>東郷町じゅんかい君(北、南北コース)、 みよし市さんさんバス(くるまつくん、さつきちゃん)、日進市くるりんばす(梅森、赤池線)</p>	

2. R1年度の運行状況

事業実施の適切性	評価の基準	《参考数値》 主要指標の推移(△)																														
<p>計画どおり運行されたか(△)</p> <p>評価 計画どおりか。そうでない場合は理由</p> <p>A 所定の事業計画通りの運行が実施された。</p>	<p>A → 事業計画どおりの運行回数が確保されている場合</p> <p>B → 車両故障等運行事業者の責にすべき事由により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合</p> <p>C → 系統廃止に至る場合</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数【人】</td> <td>39,494</td> <td>37,020</td> <td>42,574</td> <td>34,188</td> <td>39,201</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度(実績)</td> <td>3.2</td> <td>2.9</td> <td>3.4</td> <td>2.6</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>輸送量(実績)</td> <td>20.8</td> <td>18.8</td> <td>22.1</td> <td>16.9</td> <td>19.5</td> </tr> <tr> <td>収支率(実績)</td> <td></td> <td></td> <td>50.85</td> <td>38.01</td> <td>42.34</td> </tr> </tbody> </table>	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	年間利用者数【人】	39,494	37,020	42,574	34,188	39,201	平均乗車密度(実績)	3.2	2.9	3.4	2.6	3.0	輸送量(実績)	20.8	18.8	22.1	16.9	19.5	収支率(実績)			50.85	38.01	42.34
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																											
年間利用者数【人】	39,494	37,020	42,574	34,188	39,201																											
平均乗車密度(実績)	3.2	2.9	3.4	2.6	3.0																											
輸送量(実績)	20.8	18.8	22.1	16.9	19.5																											
収支率(実績)			50.85	38.01	42.34																											

目標・効果達成状況				
評価	目標の達成状況(△)	運営主体の所見、理由分析、認識(△)	市町村の所見、理由分析、認識(□)	
B1	目標	43,600	<p>利用者数の対目標値は89.9%だったが、対前年では114.7%と増加している。収支率も対前年+4.33ptで増加した。</p>	<p>市町村名: 日進市</p> <p>みよし市、東郷町、日進市を結んでおり、更に赤池駅に接続することにより、名古屋市、豊田市方面へのアクセスも確保している。日進市、みよしの大型商業施設への足として、域内住民の生活を支えており、利用者数も回復傾向が見られる。</p>
	結果	39,201		<p>市町村の所見、理由分析、認識(□)</p> <p>市町村名: みよし市</p> <p>利用者の減少により目標値を下回っているため、この路線の重要性を再認識し、市内での周知度を上げるために、さらに周知啓発に力を入れる必要がある。</p>
	特記事項		<p>市町村の所見、理由分析、認識(□)</p> <p>市町村名: 東郷町</p> <p>赤池駅から本町を経由し、イオン三好店を結ぶ、本町の北部地域の利用者の交通需要を満たすための重要な路線である。平成29年11月にプライムツリー赤池が開業して一定期間経過したことから、交通渋滞が落ち着くとともに、利用者の生活に定着したことにより、利用者数が増加したと考える。</p>	
<p>評価の基準</p> <p>A → 年間目標利用者数を達成できた場合</p> <p>B1 → 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の75%以上の利用があった場合</p> <p>B2 → 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の50%以上の利用があった場合</p> <p>C → 年間利用者数が目標の半数に満たなかった場合</p>				

複数市町村を跨ぐ系統としての役割				
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(△)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)
市町村を跨ぐ利用者数(△)	2,190 人/月	市町村名: 日進市	市町村名: みよし市	市町村名: 東郷町
全利用者に占める率(△)	77.7 %	イオンモール三好店、プライムツリー赤池への買い物移動需要を支える他、赤池駅に接続することにより、広域移動を確保する重要な路線である。	イオン三好店から東郷町、日進市、名古屋方面へ、また、市外からの来訪客の交通手段として重要な役割を果たしている。	利用者の大多数が近隣の拠点である赤池駅及びイオン三好店への交通手段として機能しており、沿線地域住民の重要な役割を果たしている。
特記事項	令和元年5月の乗降調査より算出			

《参考数値・情報》 その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△)	沿線市町村《沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載》(□)
主要停留所利用者数/日: 赤池駅65人、イオン三好店アイモール前23人	東郷町: 利用啓発チラシの地区回覧/H27.11、H28.2、H28.6 バスの乗り方教室の実施/H28.9(押草北老人クラブ)、H29.12(傍本老人クラブ)、H31.3(音貝きらきらこども)

3. R1年度の取組状況

直近の事業評価結果(△)		運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)
B	事業評価を踏まえた取組	乗換検索サイトへの情報提供、時刻表・バスマップの作成、バスロケーションシステムを提供、ノンステップバスへの更新等により利用者利便の向上に努めた。	市町村名： 日進市	市町村名：みよし市	市町村名：東郷町
改善点とした事項(△)			・市役所窓口等において、当該路線の時刻表が記載された路線図(東郷町作成)を配布した。 ・本路線の今後のルート等について関係市町と意見交換を行った。	新たに作成したさんさんバス時刻表の路線図に、当該路線を含めた市内公共交通全体の路線図として作成し、市役所窓口等で配布した。	庁舎内及び当該沿線地区のコミュニティセンターでの時刻表の配架、小学校の放課後児童クラブでのバスの乗り方教室(予定)の実施。
関係者の連携等(△□)	その他の取組				
公共交通会議等の開催					

4. 今後の課題

課題と認識している事項			
運営主体(△)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
赤池駅に開業した商業施設の影響で、当該路線の目的地でもあるみよし市の商業施設への需要が損なうことになれば、路線の見直しも検討する必要がある。	市町村名： 日進市 赤池駅での大型商業施設の開業のほか、宅地造成の進捗に伴う住宅増加により、移動需要に変化が生じていないか、引き続き検証を行う必要がある。また、東郷町内での大型商業施設開業も視野に入れた検討も行う必要がある。	市町村名： みよし市 赤池に開業した商業施設の影響で、どの程度需要が変化するか、動向を確認し、利用者増を図るための当該路線の周知啓発を行う。	市町村名：東郷町 当該路線の利用者増を図るため、継続的に利用啓発を行う。

5. 今後の取組

課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組				
取組時期	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)
R2年度、R3年度に行う取組	継続して、ポケット時刻表、バスマップの作成、HP、携帯、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムを提供するほか、コンテンツプラットフォームによる検索サイトに掲載し、利用者利便の向上に努める。	市町村名： 日進市 赤池駅の大型商業施設開業に続き、東郷町内でも大型商業施設が開業する計画があるため、利用状況等について、沿線市町と情報共有し、路線の見直し等も含めた検討・協議を沿線市町、事業者共同で行う。	市町村名：みよし市 引き続き、イオン三好店アイモールでの利用促進に努める。	市町村名：東郷町 引き続き、庁舎内での時刻表の配架、利用促進チラシの町内回覧、小学校放課後児童クラブ等へのバスの乗り方教室等の利用啓発を行う。

注. 評価にB、Cがある系統(市町村にあつては、目標の達成状況についての評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通網形成計画に記載した補助システムの目標と評価

	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
目標	市町村名： 日進市 網形成計画は策定しているが、本補助システムに対する目標は記載していない。	市町村名：	市町村名：
自己評価			

7. 補助システムに接続するフィーダー系統の利用・接続状況

沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
市町村名： 日進市 赤池駅でぐるりんばす(梅森線)と接続している。	市町村名：	市町村名：

通信欄 (この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県バス対策協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)

※適宜、セルの結合を変えて利用してください